

### 「友達と一緒に～土の中の生き物をつくる中で～」

#### ～カエルのケロちゃん編～

まずペットボトルをどうくっつけるかに試行錯誤。同じ長さに切ってくっつけようとする、隙間ができることが気になった A ちゃん。段ボールを切って隙間を埋めようと黙々と準備しています。A ちゃんはアイディアやイメージが浮かんできているようだったので、周りの友達が手伝うことがないか聞いてみると「じゃあボンド塗って」「ここくっつけたいの」と言葉にして教えてくれるようになりました。このグループは2日間かけてつくったので、大変な部分もあったのですが、最後出来上がると、「見て！できた！！」と喜んで教えてくれた姿に、みんなで満足感を感じられて良かったと感じました。

#### ～カメのカメちゃん編～

作る前に相談するところから始めたこのグループ。自分の考えを友達に提案できる B ちゃんと C ちゃんの思いが行き違い「どうする～？」と時が止まってしまうことがしばしばありました。他の子どもも「どちらもいい」「早く決めよう」と意見を出し、一番相談しようという意識があったグループだったかもしれません。ちゃんと自分の意見を伝えられることが素敵だなと思いました。また、普段よく遊ぶ友達とだとスムーズに話が進む 2 人だけに、新たなグループの友達と思いを出し合うことの難しさが見られました。つくり始めて時間が経ってくると、B ちゃんが「C ちゃんってすごいこと考えるな」と言ってきました。そして新たな一面に気づける良い機会になったのかなと思いました。

#### ～ヤマネのヤマちゃんモモちゃん編～

それぞれがおもしろいことを考えそうなグループでした。ただし少し言葉足らずで相手に届く前に諦めてしまう姿もありました。そこで「どんな風に考えてる？」と尋ね、その考えを認めていくと、同じように見えて顔や耳のつくりが全然違う 2 匹のヤマネができました。何かやろうとする気持ちがあっても何をしたらいいかわからない姿もあり、それを友達に伝えていいのか迷う姿もありました。「何したらいいかわからなくて困っているよ」と伝えたり、「何したらいい？って聞いてみたら？」と伝えたりして少し手助けすると、一緒にめあてをもって作ろうとする姿になりました。思いを伝えることの難しさを感じましたが、最後に満足そうな表情を見て嬉しかったです。

#### ～モグラのコモモちゃん編～

このグループは他より 1 人少ないグループで、考えが出しやすかったのか、初めから提案することに対して「それでいいこう！！」とみんなが盛り上がり、「めっちゃ楽しい！！」と言いながらつくったグループでした。自分の考えが友達に認められる嬉しさを感じたり、「私はテープ切る役です！」など、自分がすべきことがわかり自己有用感を感じたりしながら進めてきました。体をつくる時、波段ボールを少しずつ重ねて組み立てていくという考えにびっくりしました。手間がかかるのですが、形を鉛筆でかく、それを切る、貼り合わせる…という工程を分担してつくっていました。こんな風にこちらが予想する以上のことを考えつく姿に感動しました。



いつもと違う生活様式、意識のもち方で進んできた 2 学期もあっという間に終わりました。子どもの柔軟性や、状況がどうであれ子どもらしく過ごせる素晴らしさを何度も感じた 2 学期でした。お家でも十分に気をつけていただいたおかげで、欠席がほとんどなく、みんなが健康で元気に過ごせました。ご協力ありがとうございました。また 3 学期もみんなで元気に会えることを楽しみにしています。よい年をお迎えください。